

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当ありません。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・ 有形及び無形減価償却資産一定額法
 - ・ リース資産－該当資産ありません。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・ 退職給付引当金－山口県健康福祉財団退職共済事業掛金相当額を計上しています。
 - ・ 賞与引当金－重要性が乏しいため引当金の計上はしていません。
- (4) 消費税の会計処理
 - ・ 消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっています。

2. 法人で採用する退職給付制度

当法人で採用している退職給付制度は以下のとおりです。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に基づく退職給付金を支給しています。
- (2) 公益財団法人山口県健康福祉財団の実施する退職共済事業制度に基づく退職給付金を支給しています。

3. 法人が作成する財務諸表等と事業所の名称並びに拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりです。

- (1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）
- (2) 当法人は社会福祉事業天王園拠点区分のみなので、事業区分別内訳表及び拠点区分別内訳表は作成していません。
- (3) 天王園拠点区分財務諸表(第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式)
- (4) 天王園拠点区分に於いて作成する財務諸表等及びサービス区分の内容
- (5) 拠点区分事業活動明細書(別紙4)
 - ア 法人本部
 - イ 介護老人福祉施設特別養護老人ホーム天王園
 - ウ 居宅介護支援事業所天王園在宅介護支援センター
 - エ 通所介護事業所天王園デイサービスセンター
 - オ 短期入所生活介護事業所特別養護老人ホーム天王園
 - カ 認知症対応型共同生活介護事業所グループホーム天王園
- (6) 拠点区分資金収支明細書(別紙3)は省略しています。

4. 基本財産の増減の内容及び金額

建物の増加は、〒イ・ヒセンター給湯貯湯槽新設です。なお、建物の当期減少額のうち1,156,446円はH26.10取得の浴室改修に伴う過年度除却分です。それ以外は全て減価償却額です。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	15,887,487	0	0	15,887,487
建物	307,897,408	2,494,800	22,558,719	287,833,489
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	324,784,895	2,494,800	22,558,719	304,720,976

5. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当ありません。

6. 担保に供している資産

該当ありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりです。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	15,887,487	0	15,887,487
建物(基本財産)	841,194,471	553,360,982	287,833,489
構築物	12,174,388	7,795,838	4,378,550
車両運搬具	31,361,871	28,053,803	3,308,068
器具及び備品	183,191,780	163,587,595	19,604,185
権利	342,220	0	342,220
ソフトウエア	17,591,715	14,420,486	3,171,229
合計	1,101,743,932	767,218,704	334,525,228

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当ありません。

財務諸表に対する注記

9. **関連当事者との取引の内容**
関連当事者の該当ありません。
10. **重要な偶発債務**
該当ありません。
11. **重要な後発事象**
該当ありません。
12. **その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項**
施設整備等、その他の取得支出はすべてソフトウェアの取得です。
過年度損益修正損の内容は、過去年度の国庫補助金等特別積立金取崩額の訂正分です。